

2023.2.2 (木)
第27回例会
(通算3696回)

2022-2023 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」

第85代会長 滝越 康雄
副会長 清水 輝彦
幹事 中島 政徳
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2022-2023 年度
国際ロータリーテーマ



2022-2023 年度
R1会長 ジェニファー・ジョーンズ
第2500地区ガバナー
久木 佐知子 (旭川西 RC)

月間テーマ	平和と紛争予防／紛争解決月間
本日のプログラム	講師例会「外国人留学生の受け入れの楽しみ方」(担当：米山記念奨学会委員会)
次週例会	節分にちなんで／年男大いに語る (担当：親睦活動委員会)

- ロータリーソング：君が代・奉仕の理想 ■ ソングリーダー：石井 孝行君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト 釧路町議会議員・韓国語講師 佐々木 洋平様

会長の時間

滝越 康雄会長



お食事中の方はお続けください。今日ご出席の皆さんには足元の悪い中ご出席いただきまして、本当にありがとうございます。

会長挨拶ですが、ロータリーのことと戦争の話をお話さなければと思っていました。そうしましたらロータリーの月間テーマが『平和構築と紛争予防』ということですが、これにちなんで戦争の話をしてロータリーの話も兼ねます。

ロシアの話を中心にしたと思います。

1つ目です。ロシアとの関係では『大津事件』という日本史上の事件があります。ロシアの皇太子が来日した時に滋賀県大津市で襲われました。襲った犯人は警備に当たっていた警察官の津田三蔵、暗殺未遂事件です。津田三蔵は最終的に釧路集治監で餓死しました。4カ月の間で餓死しています。殺したのか、自分で選んだのか、その点は歴史の大きな疑問が残っています。この一件で、ロシアは感情が悪化して、日本人をそこから「猿」と言い出しています。この話は別の機会に話したいと思います。

2つ目の話です。最近、スマホニュースを見ていると、一昨日あたりから国会で「60年償還の国債」

や「80年償還の国債」の話が出てきています。これは戦費のためだと思えます。日露戦争の時、戦費に19億円かかるのですが、外債で8億円を捻出しなければいけないということで、ユダヤ人の銀行家から融資を受けました。その時の償還期間は82年。1904年の日露戦争で抱えた借金が1986年(昭和61年)に返し終わったのです。いまの80年償還の国債とすごく似ているというところで、私はちょっと興味がありました。

次は日露戦争のバルチック艦隊についてですが、当時のロシアの艦隊は世界一で、ウラジオストクの太平洋艦隊と、バルチック艦隊、そして黒海艦隊と3つあります。クルミア半島にある黒海艦隊は当時、国際条約のため地中海から出られなかったらしいのです。黒海艦隊が出られないから、奥のバルチックから出動して一挙に日本を叩こうと出発しました。

ところが、スエズ運河は戦艦の幅の関係で通ることができず、喜望峰、南アフリカを経由して来ました。出航した日が1900年10月15日。喜望峰が2カ月後の12月16日。最終的に日本の対馬に来たのが1905年5月27日6時。6カ月かかっています。行程は30,000km・18,000海里。

ここで申し上げたいことは、船の弱点として「フジツボ」の問題があります。牡蠣のような物ですが、これが船底にたくさんへばり付くのです。すると、長い航海だと2割ぐらい速度が落ちると言われています。ロ

シアの戦艦は 15,000 トンあるので摩擦抵抗を 2 割として 1,000 馬力がロスします。どこかの港でフジツボを落とせば良かったけれども、イギリスが手を回してすべての港を封鎖してしまいました。ロシアの総隻数は、バルチック艦隊 20 隻、内訳は 9 隻の戦艦、5 隻の巡洋艦などでした。

日本は 27 隻ありましたが、日本の船は古いものから新しいものまでが 7 年しかない、つまり新造艦が多かったのです。バルチックから出た 20 隻は新しいものから古いものまで建造年の差が 20 年あって、見た目よりも古い艦で来たのです。日本の連合艦隊にはフジツボの問題はないですから速度は 15 ノット、バルチック艦隊は 10 ノットが推定速度です。いざ戦闘になった場合は、速度の差が歴然と出ています。当時は石炭だったのですが主にイギリスの邪魔が入って、エネルギーの出る無煙炭がすべてストップになりました。そういうことでの戦いなので、攻撃を受けて最終的にロシアに帰った艦は 20 隻中の 3 隻という記録が残っております。5 冊ぐらいの本からまとめた次第です。

以上、会長挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

幹事報告 中島 徳政幹事

幹事報告をさせていただきます。本日、ロータリークラブの封筒を配らせていただいております。中には米山記念奨学会とロータリー日本財団の領収書が入っております。確定申告で税金が若干ですが軽減されますのでご利用いただきたいと思っております。

2 月のロータリーレートは、130 円となっております。

例会後、ホテル 3 階、雪の間で本年度第 8 回目の理事会を開催いたしますので、参加の方はそちらへ移動をお願いします。

■本日のプログラム■

講師例会「外国人留学生の受け入れの楽しみ方」

米山記念奨学会委員会 荒井 剛委員長

米山記念奨学会委員会で例会の準備をさせていただきました講師のご紹介をさせていただきます。

釧路町議会議員で韓国語教師をされてお



ります。学生時代に韓国へ留学されて、韓国語も堪能でございます。個人的にも近所に住まわられていて、子ども同士が小学校の同学年で公私ともにお世話になっております。朝は一緒にランニング、時々バードウォッ

チングを一緒にさせていただいている仲でございます。

その佐々木洋平さんですが、ここ 10 年以内だと思いますが、何人も外国人留学生や外国人をホームステイとして受け入れられております。今年も韓国からの高校生の男の子を受け入れております。何カ月もいるという訳ではなく、普段は寮にいて、そのうちの数日から 1 週間ほど自宅にホームステイしていることとなります。

このタイトルにありますとおり、ホームステイの経験談など『外国人留学生の受け入れの楽しみ方』のお話しをしていただきます。

それでは、佐々木さん、よろしく申し上げます。

釧路町議会議員・韓国語講師 佐々木 洋平様



よろしくお話しいたします。ご紹介いただきました佐々木と申します。今日は『外国人留学生の受け入れの楽しみ方』

ということで講演をさせていただきますが、自己紹介も含めてスライドを作ってきましたので早速、お話をさせていただきます。

こちらは私の家のリビングです。今日、撮ってきた写真ですが、子ども用の世界地図です。我が家で受け入れた国にパンダのシールを貼っているのです。今日、調べてみたら我が家で 9 カ国からのホームステイの受け入れをしていることが分かりました。

さて、私のプロフィールですが、仕事は韓国語講師をしています。まさか自分がこのような仕事をするとは思ってなくて、元々は学校の社会科教員の免許を取って学校の先生になろうと思いで大学時代を過ごしていました。韓国に興味があって韓国へ行ったのかというのと全く違って、当時は韓流ブームも全くありませんでした。大親友で同じ名字の男の子・佐々木君がカナダに交換留学に行くということを聞いて、僕が入り浸っていた家だったものから寂しくて、「じゃ、俺もどこかへ行こう」ということになって、その年にあった国がカナダと韓国だけでしたから、韓国留学に行くことになりました。

行ってみると、寮生活だったのですが大変刺激的な生活で、部屋にはロシア人・中国人・韓国人と僕の 4 人の共同生活がスタートしました。1 年後には、ある程度話せるようになって帰って来たのですが、ちょうど韓流ブームの年で、私は「ヨン様を連れて帰って来た」と言いながら韓流ブームと共に戻って来たのです。

せっかくなので 1 年ぐらひは韓国語を教えてみようかと言っていたら、もう約 20 年も続いている状態になっ

ています。

さて、ここで最初にちょっとしたアイスブレイク。僕も緊張を解きほぐすためにいつもやっているライフワークで、韓国の文化を少し紹介しながら皆さんとコール＆レスポンスができればいいと思っています。

韓国の国土ですが、見てのとおり、このような感じで半島があります。北はソウルに首都があり、右下に



釜山があります。が、私が住んでいた所は、ど真ん中にある大田（おおた）と書いてあるテジョンで1年間、留学生活を送っていました。

さて、ここで質問です。韓国と北海道、どちらが広いでしょうか。教えてくださいとは言いませんが、あまり想像したことはないと思います。北海道と韓国どちらが大きいかというと、このような感じで見ても分かりません。でも、数字で比べてみると韓国は99,000 km²、北海道が83,500 km²で、韓国の方が少し広いのです。興味深いことは、この人口です。今年の講演で使わせていただいた資料ですが、韓国が5,163万人に対して北海道が516万人でした。ちょうど10倍の人口がほぼ同じくらいの面積に集積しているものですから、いま韓国は人口集積がすごくて、土地がなくて大変です。昔は古墳のように盛り上げたお墓をつくっていましたが、いまは全くそのようなお墓がなくて、ほとんどが高層ビルのような納骨堂になっているのがいまの韓国の状況です。

さて、私は韓国語の授業を毎日行っておりますけれども、日本語と韓国語はものすごく似ているのです。私は韓国へ留学して、これほどまでに似ているものかとびっくりしました。もし、ハングル文字が読めた場合、どれくらい似ているか、クイズを試してみたいと思います。

1問目です。これはこのように読みます。「약속」(ヤクソ)。さて、何のことでしょうか。「약속」(ヤクソ)は約束のことです。約束のことを「약속」(ヤクソ)と言います。

次、いきます。「고속도로」(コソクトロ)。これをどこかの教室で「こそどろ」と言った方がいましたけれど「高速道路」です。「고속도로」(コソクトロ)と言います。

次、いきます。「도서관」(トソグァン)、これは「図書館」です。

次、いきます。「유료주차장」(ユリョウチュチャジャン)、もう言うまでもないですか。これは「有料駐車場」です。

次は最後です。「미묘한 삼각 관계」(ミミョウハンサンガクカンギェ)、さて当ててみてください。分か

りませんか。

正解です。「微妙な三角関係」を「미묘한 삼각 관계」(ミミョウハンサンガクカンギェ)と言います。

言われてみればかなり似ているじゃないですか。これはなぜかと言うと、ハングル文字は、日本語で言う「ひらがな・カタカナ」のようなものです。実は、韓国語の7割は漢字でできています。同じ漢字を使っているものは本当に発音が似ていて、これはやっぱり言語としては従兄弟・兄弟関係に間違いはないというぐらいすごく似ている言語です。語順も同じですし、日本人が学びやすい語学は間違いなく韓国語が一番だろうと断言できます。

さて、僕は大学時代に韓国へ行きましたが、韓国人はものすごく勉強好きだと感じました。例えば朝、寮が開いたらすぐに図書館へダッシュして自分の席を確保してから、そこを拠点に授業へ行く。常に勉強をしているイメージがあり、なぜ韓国人はこんなに勉強をするのかと思ったら、その決定的なことはこの言葉ではないかと思いました。

韓国語で勉強のことを「공부」(コンブ)と言います。先ほど、約束がヤクソで、三角関係がサンガクカンギェだったのに、勉強はなぜ全く関係がないコンブなのだろう。僕は厚岸出身で、コンブと言ったらユラユラ揺られて柔らかいイメージでしたが、どうやら「コンブ」がこの「勉強」という漢字からスタートをした言葉ではないのです。同じ漢字を使っていないことが分かりました。

これが分かったエピソードが僕の1年間の留学生活の中で一番大きかったのです。留学生活が半年経ったある日、私の部屋に新しい中国人が入って来ました。その中国人は全く韓国語が話せなくて、何とかして助けなければと思ったら、われわれの強い武器が漢字だったのです。漢字を書けば何となく通じるのです。ですから、彼に「今夜・一緒・勉強」と書いてみたのです。そうすると「今夜」と書いただけで中国人は「Oh Tonight OK」と言うのです。おお、漢字すごい。次に「一緒」と書いたら「Together OK」。最後に「勉強」と書いたとき、彼は「何だ、これ」と言うのです。仕方がないので下に「Study」と書いたら、彼がStudyと勉強という漢字を交互に指しながら「これは、違う」と言っていたのです。そこで僕は韓国語がペラペラな中国人に「これはどういう意味なの」と聞いてみたら、なんと「勉強は、無理をするという意味を持っている」と言うのです。だから日本人は勉強が苦手なのかもしれない。「コンブ」は「工夫」と書いて「コウフ」、言われてみれば読めなくもない。「工夫」と書いて韓国人は「Study」を意味しているそうです。

僕は教育者を志していましたので、この事実を知ったときに、日本人は無理をしているのかもしれないと感じたのでした。おそらく日本に勉強という漢字が入っ

て来たときは「無理をする」だったのです。商売人がお客さんの無理難題を聞くときに「勉強させていただきます」という言葉があります。これは「無理をする」という意味を持っているので、それがどんどんStudyに変わっていたのではないかとということで、韓国人・中国人は「工夫」をもって「Study」をしているのだと留学生活の中で感じたひとつの大きな出来事でした。

さて、これから我が家に来た留学生について少しずつ紹介をしていきたいと思います。

ドイツ人のルーカス君という子は、柔道合宿で釧路に来た学生で、彼はわずか3泊4日でした。「誰か受け入れる人はいないか」というときに手を挙げてウチに来てもらいました。ドイツ人のイメージはどうなの



だろう。僕は公立大学でドイツ語も専攻していましたが、教授から聞いていた話では、「ドイツ人と日本人は少し似たところがある。精密機器を作る国でもあり、気質が日本人に似ているよ」と言われましたが、9カ国の受け入れのうち、間違いなく日本人っぽいと思ったことがひとつあります。我が家の布団を一番きれいにたたんでいたのがルーカス君でした。そして、全く日本語は話せませんでしたけれども翻訳機を使って我が家にいろいろ意志を示してくれました。最初に訳していたのが「もし、可能であれば」です。次に来たのは「和牛を食べてみたい」と言ってきました。このワンクッションの「もし、可能であれば」と言ってくるのがなにか日本人に気質が似ていると感じたのがルーカス君でした。

次です。カンボジアから来たリザという留学生。最近明輝高校へ来た学生を私はほぼ受け入れていました。この子も日本語はほとんど話せない子でした。とにかく「日本食が美味しい」と言って釧路へ来て8kg太って、大変楽しんで帰って行った子です。

次は、インドネシアのアズラちゃんでした。この子はイスラム教徒ということを知っていたので、我が家で受け入れるとき最初に気にしていたことは、食べもの大丈夫かと心配していましたが、初めて会った日に彼女が右手に持っていた物がマックでした。ハンバーガーをかじりながらやって来たので、思ったよりいけるなど。豚肉以外は全部食べるのでたいした心配はいりませんでした。彼女が我が家で一番可愛がった子で、とうとうコロナ禍を終えて岡山大学へ入学して再来週、我が家に1カ月滞在をすることになりました。

今度は、インドから来たフレイシャちゃんという女の子でした。この子も日本語は全く話せない子でしたが、明るくて面白い子でした。ホストファミリーとしては心配も多く、よく氷道で転んでケガをしては病院へ行くことを繰り返していた子でした。無断で学校を休んだので、「どうした」と聞いたら、「男の子に告白をして、振られたショックで学校を休んだ」と言うのです。釧路へ来ていい生活をしたというフレイシャちゃんでした。

次です。この子は昨年来ていたユキという中国人の留学生でした。中国人のイメージどおり、ちょっと強気な感じのイメージで、お年玉をあげてみたら「うちのお婆ちゃんももっとくれる」と言ってきて、あげなければよかったとちょっとショックを受けたぐらいでした。なにか自慢気に「本場の餃子を作ってあげるから、挽肉とニラを買って来い」と言うのです。「400gいる。ニラも一束買って来い」と言ったのですが、お母さんに電話をしながら餃子を作ってくれたのですが、「ニラは1本で良い」と言うのです。「そんなわけあるか」と言いながらそのまま作らせて、食べさせてもらったらほとんど挽肉の味しかしない餃子でした。高校生ですから仕方ないですけども。

この子は、いま来ているイエチャンという韓国人の男の子です。初めて我が家へ来るホームステイの韓国人なので、実はかなり楽しみにしていました。なかなか感情を表すことが苦手な子で、何を聞いても「はい」としか言わなくて、ちょっと寂しい感じがしているところでした。

さて、我が家で一番の辛い思い出でもあります。オーストラリアから来たかなり高齢なお爺ちゃん方、合唱団として釧路へ来た男性3人が我が家へ来ました。団体受け入れがあると、釧路なら国際交流ボランティアの会やNPO法人グローバルみらいネットさんがありますけれども、「どこかでホームステイの受け入れをしてくれませんか」と声をかけて回ります。どうやら我が家はそこのトップリストに載っていて、「困ったときの佐々木家」になっているそうです。このときの合唱団は60代の女性がほとんどだったらしいのです。我が家は「どのような人がいいですか」に対して「誰でもよし」、「人数はどうですか」と言ったら「何人でもよし」と答えていました。そうしたら、最後に余された一番高齢の男性方が我が家へやって来ました。大変です。学生ではないのでお酒を飲みます。合唱団で陽気だったので、ちょっと思い出すだけで地獄絵図です。(当時の動画を再生)辛すぎる思い出でした。

朝起きてコーヒーを飲んで、彼らがいて、高齢なので話し方もボソボソッと云います。ただですらあまり英語が話せない我が家でオーストラリアなまりの英語がかなりきつくて、どうしたかという夫婦で辛すぎるので、息子に「ちょっとおじさん方を連れて行ってくれ」と頼んで散歩へ連れて行かせました。1時間して帰って来なかったので少し心配しましたが、家の周

りをお爺ちゃんたちと散歩をしてくれました。
ちょうどこのときにウチの子が通っている学校の学校祭があったので、そのまま彼らを連れて見せてきました。そうすると、わずか3日で辛い経験もするのですが、息子も別れが寂しくて泣くのです。このような経験はとても良いことをこの場でも感じたところですよ。

それでは、本題です。このような講演を聞いてぜひ我が家でも少し受け入れてみようかと思う方が増えれば良いと思っていますが、「外国人の受け入れはどうですか」と声をかけた時に最初に断られる理由がこれなのです。「英語が話せないから、ちょっと無理かな」と言われる方が非常に多いのです。この答えとしては、我が家は誰も話せません。これは何も問題になりません。日本に来た以上、日本語で話しかければいいので、ここを理由に断る理由にはならないと思います。

例えば、カンボジアから来たこの彼女は初めて見る雪でした。すごく喜んで走って外へ出て雪だるまを作っていました。やっぱりブーツがグチャグチャになってしまいました。ウチの妻がこのようにストーブの前にそのブーツを乾かしに持って行きました。そしたら彼女は、ストーブでブーツを焼かれると思ったのか、ずっと「止めてくれ」と言っているのです。すると、我が家で英語を一番話せそうなのが僕だということで、ウチの妻から「ほら、明日の朝、温かく履けるように、と言って」と言うのです。きつくないですか。英語を話せる方は良いかもしれませんが、常に僕に通訳を求めてきます。「明日の朝、ぽかぽか」。これをもどかしく感じたウチの妻はすぐにこう言いました。「Tomorrow Morning PokaPoka OK」。彼女はきっと分かってはいないと思いますけれど、「フッフ」と笑って、ウチの妻は「通じた」と信じていたようです。やっぱり度胸が付くなという感じがします。

次です。「忙しいから、無理かな」これもよく言われますが、我が家も暇ではありません。留学生が来て、我が家に合わせてもらうのです。晩ご飯も9時・10時は結構当たり前ですけど、途中でお菓子さえ食べさせておけばいいかなという感じです。連れ回しても特にどこも問題はありません。

あとはこれです。「食事の準備が大変そうだな」と言われます。これも困ったときはインスタントでOKです。あまり気にし過ぎず受け入れると外国人の受け入れはそんなに怖いものではないので、一度、家に外国人を入れてみるのが楽しみのスタートだと思います。

あとは「受け入れるための必要な心構えは」というと先ほどと同様、やはり必ずトラブルがあります。時には腹立たしく感じる瞬間もありますが、それも含めて良い思い出になります。

「あの人が来たとき家族は本当に大変だったよね」ということも家族の中では良い思い出ですし、「本当に何のリアクションもなかったね」と今回の留学生には

言ってしまうかもしれません。「日本語は全然伸びなかったね」という子もいれば、「この子とは、このような面白い思い出ができた」ということも自分の家族の中では良い思い出になるので、この変化を楽しむうえで「トラブルは在りき」で受け入れてみるのが面白いと思います。

さて、トラブルがあった子を連れて空港に行くと、息子が涙を堪えるために毎回サングラスをかけます。サングラスをかける時は、この子が楽しんでいて・我が家も楽しかったという証拠になります。このような感じで、だいたい雪を楽しむ留学生たちが多かった印象です。

これは、我が家に来た「かなり珍しいお客さん」のマサイ族です。マサイの第二婦人と一緒に釧路へ講演に来てくれて、我が家に泊めました。やっぱり驚くべきことは、何を作っても食べないのです。普段はヤギの乳と木の実にしか食べないということで、ザンギなどもほとんど手を付けず、サンマ



の刺身などは「本当にやめてくれ」と言いました。「へびみたいなものだ」と言って、全く見向きもしませんでした。良い経験でした。

これは、僕が小さくなったわけではなく、3～4年前に釧路町で受け入れた韓国のバスケットボールチームの国家代表選手です。193 cmと言っていた大きい体でした。

それでは、最後の内容です。留学生の受け入れと違って、いろいろな国の文化や考え方を見ていくと、その国のことを知らない分からないことがたくさんあります。

では反対に、皆さまがもし韓国へ遊びに行ったら何をしますか。僕はツアーで、11年連続で11回行っていますけれども、ソウルへ行こうが、釜山へ行こうが、済州島(チェジュトウ)へ行こうが、だいたい焼き肉とキムチを食べています。誰に聞いても「焼き肉を食べたい」と言います。これもそうで、お土産はなぜか分からないけれど「軽いし、いい」と言って「韓国海苔」を買って帰ります。韓国人からすると「日本には海苔はないの」とよく言います。これは「不思議なところ」らしいですね。

例えば、「全州(チョンジュ)がビビンバ」「水原(スウォン)がカルビ」「春川(チュンチョン)がダッカルビ」などと言います。どこで何が美味しいかまで日本人は知らずに韓国にツアーで行っている場合が多いということなのです。

これは面白いデータだと思います。「釧路へ来た韓国人が、#・ハッシュタグを付けてSNS上で何とつ

ぶやいたか」というビッグデータが資料に残っています。さて韓国人が釧路へ来て最もつぶやいている言葉は何でしょうか、想像をしてみてください。答えてとは言いません。

1位がビールです。釧路でつぶやいた1位がビールです。2位は何かというと、肉です。3位がラーメンだそうです。これを見て気付くことはありませんか。これは韓国人からすると、北海道は1つのイメージなのです。サッポロビール・ジンギスカン・札幌ラーメンの印象だけを持って釧路へ来ている可能性が高いということです。つまり、われわれが釜山に行っても焼き肉を食べるように、韓国人はやっぱり「北海道」という、「北海道と言えばサッポロビールだよ」「ジンギスカンだよ」「札幌ラーメンだよ」というイメージで来てしまっているのです。釧路の人が売ろうとしている物が、韓国人が求めている物かということ、そうではないところがあるのがこのデータから分かるのです。

では反対に、韓国人は釧路で何を買って帰ったのかです。15年前は、みんなが買った物は、日本の「カレー」です。韓流スターたちが日本へ入って来たときに「日本のカレーは美味しい」といろいろな番組で言いました。そうしたら観光客が釧路へ来ると、昔あった「ファイブスター」へ行って、その後「ヤマダ電機」と「ユニクロ」に寄った後、「ジャスコ」で自由行動です。自由行動になると、みんながこのカレーを買いに行くによく聞きました。

では、次に売られている物は何か。今度、売れ出したものは「ほろよい」。韓国では焼酎もウイスキーもすべて割らずに濃いお酒を飲みます。やはり、若者は「こんなに強いお酒を上司と飲むことが辛い」となってきたのです。日本にツアーで行くと、甘くてアルコール度数が弱いジュースのようなお酒があるということで、これを写真に撮ってインスタグラムに載せることが日本旅行のステータスになりました。いまは韓国で、「ほろよい」と同じようなお酒がたくさん売られるようになりましたが、20年前はほとんどなかったことなので、このような影響も受けています。

最後です。これも韓国人がよく買って帰る最後のお土産です。出国審査を済ませた後の空港にあります「爪切り」です。これは韓国が日本だった時代、昔のお爺ちゃんお婆ちゃんは日本語を使っていたのですけれども、いまでも韓国人たちは爪切りのことを「スメキ

リ」と言ったりします。日本語が方言のように残っているのです。それで、刀の文化ということで、刃物で「日本と言えばスメキリ」ということで、これが韓国人の観光客に売られている物、最後には買えるお土産です。ということで、何が言えるかというと、その国の文化を知って初めて物が売れるということも出てきたりします。友人のロシア語の先生は「ロシア人はホームマックへ行って、ネジばかり買う」とよく言っていました。なぜなのか分かりませんが、「日本といえば、ネジが良い物」という考え方があるそうで、その国の特性を知らなければうまくいかないのかなというところなのです。

留学生を受け入れて、その文化を知ることがいかに重要かということをお話したのはこの写真を付けてお話しさせていただきました。

だいたい良い時間になりましたので、ぜひ釧路の経済界を動かす皆さま方がいろいろな国の文化を知って、さらに釧路を発展させていただきたいと思います。それでは、ご清聴ありがとうございました。

会長謝辞 滝越 康雄会長

私はロータリーで、交換留学生ではなく短期ですけれど北陽高校へ来たオーストラリアの女の子をお預かりした経験がありました。たかだか3カ月でしたけれども。日曜日になると「お父さん、どこかへ連れて行って」と言われ、こっちは疲れていて休みたいけれど。そのような明るい子でした。

私は夜遅くに帰るので、妻の力しかなかったので負担が大きかったと思います。

言葉は英語ですけど、アクセントが全然違います。電話での話で「オーストラリアのお父さんとお母さんに着物の話をした」と言っていたのですが、ひと言も「着物」と聞こえないのです。ファックスのやり取りで「×××」と書いていて、何だ、この×はと思ったらキスの意味らしいのです。明るい性格の子でしたが、私の体験からすると迎え入れる方も訓練がいると思いました。

佐々木さんは立派に運営されていると思います。これからも普及を目指してよろしく願いいたします。今日の講話は、とても参考になりました。ありがとうございました。

本日のニコニコ献金

■吉田 秀俊君 先週の例会では甥の拙い講演をご清聴頂きありがとうございました。

今年度累計 321,000円